

基礎数学B 講義演習プリント・出席確認

担当 石川 剛郎 (いしかわ ごうお) (2015年度後期)

No. 17 西暦2015年12月2日 (水2)

学生番号

氏名

17-1. 集合 $\{0, 1\}^N = \{a = (a_1, a_2, a_3, \dots) \mid a_m = 0 \text{ または } 1 (m \in \mathbb{N})\}$ に関して、次の問いに答えよ。

(1) f を \mathbb{N} から $\{0, 1\}^N$ への任意の写像とする。 $k \in \mathbb{N}$ に対し、 $f(k) = a_k = (a_{k1}, a_{k2}, a_{k3}, \dots)$ としたとき、 $b = (b_1, b_2, b_3, \dots) \in \{0, 1\}^N$ を

$$b_k := \begin{cases} 1 & (a_{kk} = 0 \text{ のとき}), \\ 0 & (a_{kk} = 1 \text{ のとき}), \end{cases}$$

により定める。このとき、 $b \notin f(\mathbb{N})$ を示せ。

(2) $\text{Card}(\mathbb{N}) \neq \text{Card}(\{0, 1\}^N)$ を示せ。

(1) $\forall k \in \mathbb{N}$ に対して、 $b_k \neq a_{kk}$ だから $b \neq a_k = f(k)$
よって $b \notin f(\mathbb{N})$

(2) (1) から \mathbb{N} から $\{0, 1\}^N$ への全射は存在しない。
全単射は存在しない よって $\text{Card}(\mathbb{N}) \neq \text{Card}(\{0, 1\}^N)$

17-2. 集合 A のべき集合 $\mathcal{P}(A)$ 上に2項関係 \preceq を、 $B, C \in \mathcal{P}(A)$, つまり、 $B, C \subset A$ について、

$$B \preceq C \stackrel{\text{def}}{\iff} B \subset C$$

により定める。 \preceq が $\mathcal{P}(A)$ 上の順序関係であることを示せ。

$\forall B \in \mathcal{P}(A)$, $B \subset B$ だから $B \preceq B$

$B, C \in \mathcal{P}(A)$ に対して $B \preceq C$ かつ $C \preceq B$ とする。 $B \subset C$ かつ $C \subset B$ である。よって $B = C$

$B, C, D \in \mathcal{P}(A)$ に対して $B \preceq C$ かつ $C \preceq D$ とする。 $B \subset C$ かつ $C \subset D$ である。よって $B \subset D$ よって $B \preceq D$ 。

《「数学の仕組み」に関するメモ》

1. (1) から f が全射でないことがわかる。なお、 $\{0, 1\}^N$ から $\mathcal{P}(\mathbb{N})$ への全単射が存在する。実際、 $a = (a_1, a_2, a_3, \dots) \in \{0, 1\}^N$ に対し、 $\{k \in \mathbb{N} \mid a_k = 1\} \subset \mathbb{N}$ を対応させればよい。したがって、(2) から $\text{Card}(\mathbb{N}) \neq \text{Card}(\mathcal{P}(\mathbb{N}))$ がわかる。

2. (1) $B \preceq B$, (2) $(B \preceq C \text{ かつ } C \preceq B) \Rightarrow B = C$, (3) $(B \preceq C \text{ かつ } C \preceq D) \Rightarrow B \preceq D$ を示す。